



長洞元気村ニュース

平成23年 6月18日
復興 第 6 号

“結い”

表札は屋号ですよ！

太平洋戦争で負けた日本は、やがて日米講和条約を結ぶことになる。占領下から独立する歴史的な舞台だ。首相吉田茂と外交官は英文でその受諾演説の原稿を作った。首相に同行した白州次郎がこれを知り激怒する。「たかが戦争に負けただけではないか。」日本国とその歴史に誇りを持つべきだというのである。受諾演説の原稿は徹夜で巻紙に筆書きされ、当日の吉田首相の受諾演説は、武士が手紙を読むような形で日本語で読み上げられた。という。

長洞に住まいし、この自然と歴史の中で生きている私たちの状況は、日本が全てを失ったと思われた敗戦の時と同じように思えてならない。白州次郎に言わせたら「津波に財産を持っていかれただけではないか。」なんて言うのだろうか。家々を屋号で呼び合う習慣はいつから始まったかは知らない

が、長洞で生きている私たちの歴史と文化に誇りを持つてくではないか。地域のコミュニティの力で震災を乗り越えつつある状況を確認しながら仮設住宅には屋号の表札を誇らしく掲げよう。今、大長根新屋で制作中です。

仮設研メンバー紹介

仮設市街地研究会の鳥山千尋（トリヤマ・チヒロ）です。ひょろっと背が高く、5月初めにお会いした時は、つば広の帽子を被っていたので、ご記憶の方もおいででしょう。ふだんは、東京の阿佐谷にある高齢者ためのデイサービス施設の所長をやっています。

私は、東京の杉並区役所で建築・開発の許認可や防災まちづくりなどを長く担当していました。長洞では元気村の建設が進んでいると思いますが、集落の皆様とこれからも、お付き合いさせていただければと願っています。

趣味は、昆虫（夜の蝶ではありません）の観察・採集で、台湾やマレーシアなどにとときどき出かけます。元気村(仮設集落)の敷地にも可憐なベニシジミが飛んでいましたね。

皆様のご健勝をお祈りします。

さくらんぼ保育園 より野菜の支援

またまた届きました。新ジャガとタマネギとキャベツです。家の光の取材に訪れた作家の島村菜津さんの紹介で届いたものです。継

続しての支援は本当にありがたいですね。さくらんぼ保育園の方から一度電話をいただいて送り先を伝えただけで失礼ばかりです。さくらんぼ保育園の皆さん、本当にありがとうございます。

なお、8月号の家の光に長洞地区の震災対策の取り組みが紹介されます。ご覧ください。

……※お詫びと訂正…… 前号で原さんの紹介を東京工業大学・千葉工業大学/講師・客員教授としましたが現在は東京都市大学大学院講師でした訂正してお詫び申し上げます……

